



## 主な内容

地域産業振興構想、ひとづくり構想 .....	P2
萩商工高校野球部主将・森優大さん .....	P3
萩市観光協会会長・厚東啓子さん .....	P4
長州と会津の友好を考える会代表・山本貞壽さん .....	P5
ズームアップ 陽捷行さん（東京都） .....	P6
シェアキッチン「ほしのかげら」店主・藤林真理絵さん .....	P8
萩ゆかりの店 伏水菓蔵本店（京都府） .....	P13

全国高校ラグビー大会では、萩商工高校ラグビー部は山口県大会予選・準決勝で山口高校に惜敗し、2015年以来の花園出場は果たせなかった。出場は長門市の大江緑洋高校。今年9月20日～11月2日には日本で「ラグビーワールドカップ2019」が開催される。野球部は春の選抜高校野球大会の「21世紀枠」候補として山口県推薦校に選ばられるも出場はならず、夏の甲子園大会に向け練習に励んでいる（3ページ）。少林寺拳法部は3月23日～25日、全国高校少林寺拳法選抜大会に男女とも自由組演武などに出場する。

## 第146号 2019年3月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

MAIL hagi-network@city.hagi.lg.jp

写真／松岡征人（山口市）

## 萩商工高校 ラグビーなど部活動





# 今後10年の指針となる「地域産業振興構想」、 「ひとつづくり構想」を策定

昨年6月に策定した「萩市基本ビジョン」に掲げるまちづくりを進めるため、12月に今後10年間の指針となる「地域産業振興構想」

「萩市ひとつづくり構想」を策定した（全文は萩市ホームページで公開）。

## 萩の強みを生かした稼げる産業を構築 「地域産業振興構想」

豊富な農林水産物資源や、自然環境・歴史・文化資源といった観光資源など、萩市の強みに磨きをかけ、地域の稼ぐ力を伸ばすため、官民が知恵を絞って取り組んでいくことが求められる。

- 萩市の強み
- ・豊富な農林水産物資源（豊かな食資源）
- ・豊かな自然環境と歴史・文化資源
- ・観光都市としての知名度
- ・住みよい居住環境

例えば、豊富な水産物資源がビジネスで生かされている「アマダイ」。懷石料理の高級素材として珍重され、漁獲量は山口県が全国1位（2位は長崎県）。萩市が山口県内の約7割を占め「萩のあま

だい」としてブランド化に成功し、全国の市場へ出荷されている。

- 萩市の弱み・課題
- ・技術・技能者の減少と高齢化
- ・若年世代の地域外流出・人材不足

・公共交通や道路網の整備の遅れ  
・中山間地域における過疎化の進行

・特産品（食品）の知名度  
例えば、「金太郎」（ヒメジ）は良質な素材でありながら日持ちがしないため、安価で地元流通され知名度もなかった。有名シェフとのコラボによる商品開発などで首



萩の金太郎

萩のあまだい  
(画像:道の駅萩しーまーと)



都圏のマーケティングに成功した。

## 地元を愛する子どもを育てる「ひとつづくり構想」

### ■萩市の状況

人口は1955（昭和30）年の9万7744人をピークに年々減少し、2017年には4万8895人とピーク時に比べ半減し、将来的にも更なる人口減少が予想される。

若者の流出に歯止めがかからず、少子高齢化も急速に進展しているため、産業の担い手が不足し、産業や地域の活動が年々縮小し、活力が低下している。

このまま何も変わらなければ、将来的に消滅すら危ぶまれる危機的状况にある。

### ■目指すひとつづくり

明治維新に活躍した多くの人材を輩出した誇るべき歴史がある一方、過去の歴史に頼る意識もあり、新しいことや変えることに踏み出せない閉鎖的、保守的な側面も見受けられる。

こうした保守的な風潮を突き破り、活力と魅力あるまちづくりを進めるため、これまでの意識や考

え方をいったんゼロに戻し、何を目指し何ができるかを自ら考え、自ら行動しようとする意識を持つことが必要となる。

創造 広い視野を持ち、新たな視点から考える人  
挑戦 現状に甘んじることなく、未来に向かって果敢に挑む人  
協働 人との関わりを大切に、社会のために共に行動する人

## 見島高速新船「ゆりや」 4月から就航

萩海運有限会社では、見島〜萩間に就航している高速貨客船「おにようず」の老朽化により、新船「ゆりや」を建造、昨年12月13日に進水式が行われ、4月1日から就航する。

島民の快適な利用はもちろん、観光需要の喚起も期待される。

運航時間は1時間10分、旅客運賃は大人1940円、小人970円（特定有人国境離島地域に指定され、島民は半額程度に割引）。

■萩海運 萩市東浜崎町139  
(0838・25・2040)



進水式で披露された高速貨客船「ゆりや」

# 新総合福祉センター 萩市役所となり7月完成予定



工事中の新総合福祉センター

旧施設は、1971年建設、鉄骨造2階建て、延べ床面積966平方メートル。老朽化に加え、現行の耐震基準を満たさず、バリアフリー化もされていないため、長年の懸案だったことから野村前市長時代の2015年に建て替えを決めた。

新施設は、鉄筋コンクリート造、3階建て、延べ床面積4531平方メートル（旧施設の4.7倍）。社会福祉協議会の移転のほか、市役所の福祉関係課を集約したワンストップ窓口とし、在宅介護支援センターや子育て世代包括支援センターなど福祉関係団体の拠点とする。また大規模災害が発生した時には、災害対策本部としての機能を新たに備える。総事業費は約21億円。

萩市では、老朽化に伴い市役所西側、市民館後ろの社会福祉協議会が入っている「総合福祉センター」を建て替え、国道191号沿いの市役所東側に新たに「萩市総合福祉センター」の移転整備を進めている。

今年梅雨前の6月までの完成を目指していたが、建設現場の旧南崎医院の基礎やくいの撤去に時間がかかったことや労働者不足の影響などもあり、供用開始は7月中旬となった。

# 萩商工高校野球部 夏の甲子園大会予選に向けて

萩商工高校が春の選抜高校野球大会「21世紀枠」の山口県推薦校に選ばれたが、惜しくも中国地区代表は逃した。野球部の森優大主将（阿武町奎吉、17歳）に話を聞いた。

## 山口県推薦校に選ばれて

これまでお世話になったたくさんの方々に感謝を申し上げます。現在、部員は27名（1・2年生）です。活動場所は学校のグラウンドですが、ラグビー部、陸上競技部と兼用であるため、他部と時間調整をしながら活動をしています。普段の練習では限られた練習内容となるため、実戦練習が不足しますが、週末や長期休暇に多くの練習試合を行うことで補っています。



森優大主将



森主将を中心に野球部2年生

ます。

今現在は、シーズンオフのため、各種トレーニングを中心としたメニューとなっております。春・夏に連戦を戦い抜くことができる体力づくりを目標に日々練習に励んでいます。

## 高校までの部活動は

私自身のことになりましたが、私の父は、小・中・高と野球部に所属していました。幼い頃から父とキャッチボールなどをするうちに、自分も野球が好きになってきたように思います。地元には野球

のスポーツ少年団が無かったので、大井にあるスポーツ少年団に入り野球を始めました。中学校では、野球部の部員数が少なかったため、他校との合同チームという形で各大会へ出場していました。

現在の萩商工野球部2年生は、全員が小学校から野球に携わってきており、大会や練習試合などで顔を合わすことがとても多かったように思います。そんなこともあり、昔から知っている仲間と一緒に野球をしているのが、とても楽しく、とても充実しています。この仲間と野球ができる期間もあとわずかになりました。

## 甲子園大会県予選、ベスト8目標

春の大会の後には、自分たち2年生にとつては最後の大会である夏の甲子園大会予選となります。仲間とともに積み重ねてきたことをすべて出し切り、まずはベスト8進出を目標に、これからの日々を無駄にしないようにしたいと思います。

チームとしては、力不足な面はたくさんありますが、「21世紀枠山口県推薦校」に推薦いただいたことを励みに、普段の生活から今一度見直し、推薦校にふさわしいチームになれるよう鍛錬していきたいと思っておりますので、これからも応援をよろしくお願いします。



# 萩市観光協会会長 厚東啓子さん 萩の魅力「伝える力」が大事

昨年6月、萩市観光協会会長に就任した厚東啓子さん（土原、69歳）は、大正14年創業の老舗旅館「萩の宿 常茂恵」の女将。



着物姿で接客する厚東啓子さん

2月3日の「観光シーズン開き」では「史跡や町並み、自然、食、

着物など観光資源を最大限に生かし、まちが人々を惹きつけて感動してもらえよう観光地づくりに取り組みたい」とあいさつ。

生まれは広島県廿日市宮島町、同志社女子大卒、東京で会社勤め後、縁あって萩に嫁いだ。「常茂恵」創業者の厚東常吉は夫の祖父。松陰神社拡充に尽力された方で、没後50年に当たる昨年9月、松陰神社入口左手の常吉銅像周辺が整備、説明版も設置され来訪者の目に触れるようになった。

厚東さんは「萩観光を盛り上げたい」という思いは強く、これま

で着物で城下町を歩くイベント「着物ウィーク」を提案、引き続き「着物の似合うまち萩」には力を入れたと話している。

「魅力があっても、それを伝えないと魅力とは言えない。伝え方にはいろいろあるが、どんな説明より、行ってみたいと思わせる力（伝える力）のある写真や映像が印象に残る。それらの発信方法をメディア、発信会、SNSなどで効果的に行いたい。また文化財などのガイドは質の高さが求められ、本物を伝えることが大事。インバウンド（訪日外国人客）は有料でもちゃんとした知識を求めている。本物は感動するし、あとに残る。」

## 観光客数135万人、宿泊客数41万人 ともに4%減

萩市と萩市観光協会から2018年の萩地域（合併前の旧萩市区域）の観光客数が発表された。前年比4.6%減の135万5996人で、そのうち宿泊客数は4.7%減の41万5988人だった。

### 天候不良などが影響

1月から2月の寒波、7月の豪雨など悪天候、台風接近によるイベント中止、前年の大型観光キャンペーンやまぐちDCの反動減などが影響したと分析している。前年を下回る結果となったが、

明治維新150年記念事業、萩版DMO戦略に基づく事業などにより、減少幅を最小限に抑えることができた。

観光施設のうち前年より減ったのは、世界遺産の構成資産である松陰神社は45万9525人（前年比6.9%減）、萩反射炉は10万2151人（同21.3%減）、17年3月にオープンした萩・明倫学舎は25万3151人（同10%減）など。増えた施設は、萩博物館は8万8579人（同2.8%増）、木戸孝允旧宅は4万2940人

（同10.6%増）など。■19年の取り組み

全国的な知名度をもつ従来の「歴史や町並み」観光に加え、日本ジオパークに認定された萩ジオパークによる「自然」、地域の豊かな食材による「食」などの取り組みを強化し、萩の魅力を最大限に生かした萩ならではの滞在型観光を推進する。今年には旧萩藩校「明倫館」創建300年を迎えることから、全国から旧藩主の子孫等が集まる「全国藩校サミット」を11月30日～12月1日に開催する。

## 山陰道（大井～萩間）の中間地点にインターチェンジ

国土交通省は、今後整備予定の山陰道（大井～萩間）のルート帯について、中間地点にインターチェンジ（IC）を設置する全線バイパス案とする方針を決定した。

昨年11月29日、中国地方整備局（広島市）で開催された社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会で、「大井～萩間」（約15キ）と「須子（益田市）～田万川間」（約12キ）の計画段階評価が行われた。

### 大井～萩間

ルート帯に関して3案が示され、沿線住民や企業などを対象にヒヤリングやアンケートなどを行った。国道191号の災害や事故など課題の解消、世界遺産など観光拠点施設等へのアクセスが考慮され、中間ICを設置する全線バイパス案が了承された。

### 須子（益田市）～田万川間

益田市側の須子～小浜間（約7キ）はバイパス整備とし、小浜～



途中にICを設置する案が決まった大井～萩間のルート

田万川間（約5キ）は、頑健なネットワークとして山陰道の構築も必要であるとし、全線バイパス案を加えた評価を今後検討すべきとの意見が出された。

萩市としては、国道の構造不良や災害対応のため、バイパスの必要性を国に対して強く要望している。

# 「戊辰明治150年会津人と長州人かく語りき」 山本貞壽さんが語る「長州会津の新たな絆」

昨年8月、「戊辰明治150年・会津人と長州人かく語りき」が出版された。その中で「長州会津の新たな絆をつなぐ」と題して、萩市の医師で、長州と会津の友好を考える会代表の山本貞壽さん（椿東、79歳、萩高校昭和32年卒）は、次のように語っている。



山本貞壽さん

高校時代まで萩で育ち、大学、職場では市外にいたものの、その後帰郷して32年の一開業医の身。吉田松陰に心酔する生粋の長州人ですが、これまで約60回、会津の地に足を踏み入れ、会津藩士の慰霊祭に参列するなど、わだかまりを払拭しようと奔走してきた。平成も変わろうというこの時代では、もうそういった会津の「長州人への怨恨」はなくなっていると思われるかもしれないが、彼の

地に根づくその恨みは依然としていまだに深いものがある。

母方の家系だが、私の祖先に戊辰戦争で会津に行つた医者がいる。名は山根孝中<sup>こうちゆう</sup>といい、松下村塾生で松陰よりも7歳年上で、塾生では最年長だったという。会津では、敵味方関係なく治療に努めたといわれている。

会としても個人としても、長州と会津の距離を少しでも近づけようと努力してきましたが、30年たつても、両市の距離が近づくことに困難がある現実を身をもって経験してきた。

長州会津との間に新たな絆を作り出していこうと努め、JANAなど民間ではいくつか実を結んでいて、今後も活動の輪を広げていきたい。

なお本の中で、1987（昭和62）年の萩市から会津若松市への友好都市提携の打診、95年の会津若松市民がつくつたミュージカル「早春譜」上演、2011年の東日本大震災での救援物資など、今までの会津若松市と萩市との交流を分かりやすく紹介している。

## ■これまでの主な活動

・2004（平成16）年 会津若松医師会会長（当時）の高谷雄三と

んと共同で萩図書館に「会津関係資料コーナー」を設置

・06年 田村幸志郎さん（当時、山口県文化連盟会長）から「長州と会津の友好を考える会」代表の依頼。以後、萩市民を中心として会津ツアーを3回

・15年 長州会津肥後の合同隊で津軽の「みちのく松陰道」踏破

・17年 旧会津藩校・日新館の宗像精館長による講演会「戊辰150年の会津人の思い」を開催

・18年 会津若松市、二本松市、白河市での戊辰150年記念式典に出席。萩と会津の「相互交流J A協定書」調印式に立ち合う

■「戊辰明治150年 会津人と長州人かく語りき」

著者 山本貞壽、早川廣中<sup>ひろなか</sup>（白虎隊記念館理事長・元会津若松市長）  
定価 1600円（税別）  
問い合わせ 山本内科胃腸科  
（0838・26・0077）

会津長州関係は誤解の積み重ねで成り立った!?

# イージス・アショア 防衛副大臣が 萩市長・阿武町長と会談

地上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画を巡り、原田憲治防衛副大臣が村岡山口県知事、萩市長、阿武町長らと昨年12月25日に県庁で会談し、配備計画に理解を求めた。

原田副大臣は現地調査に触れ「配備に当たっては地元の理解が大前提。住民の懸念や不安を払拭できるような具体的で分かりやすい説明に努めたい」と理解を求めた。

萩市の藤道健二市長は「国益にかなうなら、まちづくりや障害が生じるおそれがあるというだけで配備反対の立場は取らない。住民の安全安心の確保のために、言うべきことは言うという姿勢で対応していく」と述べた。

阿武町の花田憲彦町長は「町の取り組みを根底からひっくり返す。演習場への配備は断念していただきたい」と訴えた。

## 電波環境調査も始まる

配備候補地の陸上自衛隊むつみ演習場近くの萩市むつみ地区では、適地調査のうち「地質・測量調査」が10月から始まり、電磁波の影響を確認する「電波環境調査」が2月2日から始まった。3月末

までに全ての調査を終え、4月以降に調査結果を公表する予定。

## 電波使用状況調査

演習場周辺にある携帯電話基地局や防災行政無線などが発する電波が、演習場内の無線施設に与える影響を調査する。2月2日～10日に演習場内の8カ所で、電波の受信状況を測定した。

## 対空レーダーによる実測調査

電波による健康被害や生活環境に影響を及ぼすとの懸念が指摘されることから、コンピュータによる試算値を検証するため、実際にレーダー装置を使った電波の影響調査も追加で行う。2月下旬から3月上旬の4日間程度、演習場内に陸上自衛隊の対空レーダーを設置し、住宅街などのない空中に向けて電波を照射し、影響を調べる。



むつみ演習場で電波を測定する業者



陽 捷行さん

(萩市椿出身、萩高校昭和37年卒、75歳)



18年10月東京指月会第51回大会

長州人と骨

息子が幼少の頃、よく実家に連れ帰った。親父は明治生まれの生粋の長州人だから、紛れもない長州弁を使う。冬の寒い日、親父は孫に「障子、たてー」と言った。わが息子は怪訝な顔をして、障子の傍に立った。再び「障子、たてー」。息子の顔には、さらに怪

訝さが深まった。親父は「閉て」のつもり、息子は「立て」のつもりだった。親父と酒を飲んでいると、親父がしきりに「酒が満てたのう」という。息子は傍でまた怪訝な顔をしていた。親父の「満てた」は酒がなくなつたこと、すなわち徳利の空間の方に意識があり、空間が満ちたのだ。長州藩の経済感覚か

ら生まれた言葉だ。減ること、すなわち空間が満ちることが気になる。息子にしてみれば、酒が無くなるのにどうして満てるのか不思議だつたらう。文明と文化の違いを知るよい経験だつたと思う。

そのうち、幕末の長州人に話題が移った。高杉晋作は、「骨が太い」うえに「骨っぽい」。「骨身を惜しまず」働いた。「骨の髄まで」長州人だから、「骨を通した」ことになるのう。晋作や久坂玄瑞を教育するのに、松陰先生は「骨が折れた」り「骨を砕かれた」ことじゃのう。先生の教育には「骨惜しみ」がなく、「骨に染みる」まで純粋じゃつたのう。とくに晋作には、「骨折つて手を焼かれ」た。先生の教育精神は「骨に刻む」べきじゃ。

いずれにしても、多くの長州人が「骨を砕き」、「骨身を削り」、「骨を粉にして」、「骨抜き」にならず、「骨折り損」とも言わず、「骨が舍利になる」まで頑張つたものじゃ。いや、まったく「骨の折れる」革命じゃつたわい。傍の息子は、目を白黒させている。長州人は、骨が折れたり、削られたり、砕かれたり、まともな奴はいなかったのだと思つただらう。

「萩市ひとつくり構想」の目指すひとつくりには「萩は閉鎖的、保

守的な側面も見受けられる」とある(本紙2ページ参照)。解放と閉鎖とはなにか。解放と閉鎖とはなにか。保守と革新とはなにか。自助と互助と扶助とはなにか。文化と文明とはなにか。歴史における不易流動とはなにか。「金子みすゞ」の詩「見えないものでもあるんだよ」など。

これらの背景に共通する基本は、かつて長州人がもっていた自・互・扶の「骨太さ」「骨っぽさ」に代表される志と、為政者や教育者が常に心した「骨が折れても」「骨を粉に」「骨に染みる」継続的な純粋さなどであろう。ゆめゆめ「骨抜き」「骨折り損」などありえない。「萩市ひとつくり構想」は、最終案が審議されて終わるのではない。そこから、成果のためのシステム作りと実行がはじまるのだ。何年かあとに達成される成果を築しみに、残り少ない歳月を生きたい。

プロフィール

1943年(昭和18)萩市椿生まれ/62年(昭和37)萩高校卒(14期)/71年(昭和46)東北大学大学院農学研究科博士課程修了  
北里大学名誉教授/生き物文化誌学会会長(専門は土壌学、環境科学)  
現住所 東京都北区

テレビ放映情報

高杉晋作、桂小五郎を主人公にしたテレビアニメ「BAKUMATSU」が昨年10月〜12月(第1期)に放送され、4月〜6月に第2期放送(全12話)が始まります。スマートフォン用ゲームアプリの人気作「恋愛幕末カレシ」時の彼方で花咲く恋〜」を原案として、高杉晋作を中心としたキャラクターたちが原案ゲームとは異なる切り口で活躍するアニメオリジナルストーリー。

■放送日時・放送局

「BAKUMATSU」クライシス」  
TBS/4月4日から毎週木曜日、深夜1時58分〜(30分)  
BS-TBS/4月6日から毎週土曜日、深夜2時30分〜(30分)



(C) FURYU/BAKUMATSU 製作委員会

# 菜々色マルシエ通信 「平田さんのトマト」

春風とともにやってくる

桜の開花よりもひと足早く、入荷を迎えるトマトがあります。完熟でしっかりと色ついた果肉が溢れる絶妙なバランスの甘味と酸味。大地を吹き抜ける春風のように軽やかで鮮やかな香り。それは「平田さんのトマト」の名で多くの人に愛され、萩に住む人々の生活に彩りを与えています。

市内各所で取り扱いがある中でも、菜々色マルシエに入荷するのはA級品のみ。特に大人の手のひらほどもある大玉は、味も品質も別格です。

## 「トマトのつくり」がいだわる

生産者の平田利恵さん（椿）は、農家に嫁いで以来、ご主人とともに数え切れないほどの努力を重ね、最高品質のトマトを生産するために全力を注いで来られました。

平田さんのトマトは、近年人気の糖度の高いフルーツ系トマトとは対極的な「野菜系」トマト。糖度だけではなく、味と香りと食感のすべてのバランスが取れた、野菜としてのトマト本来のおいしさを追求しています。



平田さんのトマト

子どもたちにも伝わる姿勢

以前、近くの保育園児たちがハウスを訪れた時のこと。「好きなトマトをひとつ選んで食べてもらえん」とすすめると、日頃トマトが苦手な食べられなかった子も含め、そこにいた園児全員が、緑のヘタだけ残して完食したそうです。それは生産者のまっすぐな姿勢が伝わった瞬間。生きる力を伝える、食育の真髄のようなエピソードです。

幼い頃から平田さんのトマトを食べて育った子どもたちも、今では子を持つ親の世代。我が子にも食べさせたいふるさとのお味です。

## 道の駅萩往還

(0838・22・9889)

全国発送いたします。

# 道の駅・萩しーまーと通信 旬のお魚「真ふぐ・子持ちヤリイカ」

萩のブランド魚「真ふぐ」

萩の冬の味覚といえばフグ。萩で漁獲されるフグはトラフグ、シロサバフグ等数種ありますが、王様と言われるトラフグに匹敵する味わいをもつフグが「マフグ」。身の質も、食感も味わいもトラフグとよく似ています。

このマフグ漁の最盛期は2月～3月。はえ縄の漁師さんが萩沖で漁獲し、船の水槽で生かしたまま戻ってきます。市場の活魚水槽で泳がしながら競りにかけられます。萩しーまーとでは、毎年マフグの季節になると館内の活魚水槽で萩産天然マフグを泳がしながら販売



マフグ料理鍋

売っています。フグには毒があり、県の条例でそのまま販売できないため、有資格者のスタッフがお客様にお渡ししています。

生きて泳いでいる状態から捌くため、冷凍などしていないフグ本来の味わいを堪能できます。刺身はもちろん鍋や唐揚げに最適です。海況にもよりますが、これから4月まで萩では旬の地魚「萩の真ふぐ」の味覚を楽しむことができます。

フグと同様に萩ではイカも複数の種類が漁獲されます。冬から春にかけてお勧めのイカは「ヤリイカ」です。1月から3月にかけて旬を迎えます。夏のケンサキイカ、冬のヤリイカと萩の海を代表するように季節に合わせて水揚げされます。

特に2月から3月にかけては、子をもつヤリイカが水揚げされます。子持ちのヤリイカは、一般的なヤリイカと比較して胴の長さが20センチ程度と小ぶりです。子持ちかどうか外見からはわかりにくいのですが、胴の中を覗くと卵の塊があり、コツを覚えるとすぐに見分

## 地元で根強い人気「子持ちヤリイカ」

「萩の天然真ふぐ鍋セット」「萩の天然真ふぐ生みがき」を直送詳しくは14ページをご覧ください。

■萩の真ふぐ祭り 3月10日（日）午前10時～午後2時

■道の駅萩しーまーと (0838・24・4937)

けられます。子持ちヤリイカは時期が過ぎってしまうとぱったりとあがらなくなってしまうということもあつてか、地元・萩で根強い人気。萩の家庭やお店では「子持ちヤリイカの煮つけ」がこの時期よく登場します。冬の味覚なので萩で見かけたときにはぜひ味わってくださいね。



子持ちヤリイカ料理煮つけ





移動販売「ツムグお台所」  
シェアキッチン「ほしのかげら」  
店主・藤林真理絵さん (32歳)

自転車を走らせればすぐ近くに海があり、ほんと素晴らしい町だなと感じました。長野のゲストハウスで働いた後、10カ月間ワーキングホリデーでニュージーランドとオーストラリアに滞在したのですが、その間も萩への思いが膨らむばかりで、帰国したら萩へ移住しようと思えました。

移動販売「ツムグお台所」

萩に移住し、当初はお店を構えることを考えていたのですが、イメージと合致する物件がなく、再び「ルコ」でヘルパーとして働きながら物件探しを続けていたところ、中原木材工業（中津江）の中原忠彦さんから、車で移動販売してみてもとアドバイスいただきました。移動販売でいろいろなどころに出向き、人に出会うことで、地域を知り、知ってもらえるのではないかと考え、中原さんにアドバイスをいただきながら移動販売車を作り、キッチンカー「ツムグお台所」を17年の9月から始めました。

シェアキッチン「ほしのかげら」

オープンしてからは、光業商会（唐樋町）の駐車場を間借りして朝食サービスを提供しつつ、地域内はもとより市外・県外で催されるイベントに出向きました。1対

1の接客になる移動販売の良さを感じつつも、店舗を構えることへの思いが再燃し、物件探しも並行して行っていました。そして昨年の春「ほしのかげら」の大家であり、敷地内にある素泊まりホテル「グラン・ジュテ」のオーナーさんと出会い、シェアキッチンという形で念願の店舗を構えることができました。

現在「ほしのかげら食堂」では朝ごはんとお昼ごはんを提供しています。ホテルの宿泊客が使ってくれることもあります。お昼はインスタやフェイスブックを見て来てくれるお客さんが結構います。「ほしのかげら」で多くの人が、いろいろなものを共有してもらいたいと思います。引き続き移動販売「ツムグお台所」とし

て、イベントにも出向きます。欲を言えば「ほしのかげら」でカフェやディナーをシェアしてくれる人が現れて、この場所がさまざまなお客さんが集まる場所になればと思います。

■シェアキッチン「ほしのかげら」萩市東田町28番2 田町商店街ビジネスホテル「グラン・ジュテ」萩市内

朝ごはん 午前7時～10時（ラストオーダー午前9時30分）  
定食全て500円  
お昼ごはん 午前11時～午後2時（ラストオーダー1時30分）  
気まぐれ定食700円、焼き魚定食、気まぐれ丼、ハヤシライス 各600円  
(070・75567・2693)

※現在、長期的に利用されたいシェフの方を募集しています。

「食」に関係する仕事がしたい

2017年4月に埼玉県から萩市に移住し、同年9月に移動販売「ツムグお台所」を開業。そして昨年12月には萩田町商店街内の宿泊施設「グラン・ジュテ萩」の一角にシェアキッチン「ほしのかげら食堂」をオープンした藤林真理絵さんにお話を聞きました。

きなものは何かと振り返れば、昔からカフェ巡りが好きで、やっぱり「食」に関係する仕事が良いなと改めて感じました。当時は「いつか生まれ故郷の新潟でカフェを開くことができれば」と考え、知り合いのカフェの店主に相談したら、新潟と環境が近い長野県のゲストハウスに併設したカフェを紹介してもらいました。そのゲストハウスを施工された方が手掛けた「ルコ」というゲストハウスが萩市にあると聞き、車で旅をしながら初めて萩を訪れたのが今から4年前のことです。それから1カ月ほどゲストハウス「ルコ」でヘルパーとして働きました。その間に出会えた萩の方々の優しさに触れ、また

生まれは新潟で、出生後すぐに埼玉に移り、学生時代は埼玉で過ごしました。学校を卒業してからは栄養士として東京の保育園に就職。保育園を離職した頃、これからの人生をどのように生きていくか、やりたいことは何だろうかと深く考えていました。自分の好



店内



看板



店主の気まぐれ定食（ごはん、味噌汁、メイン、おかず2～3品）700円～



# 萩の夜を愉しむ ③

路地のネオンに灯りがともれば、萩の隠れた魅力が顔を出す

(東田町・南片河町・土原・椿)

店の紹介・写真は、山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部の提供です

※「マップ」のパンフレットを希望者に郵送します。

### スナック cha-cha




MAP 33

- ¥ 4名まで60分3,000円  
5名様以上90分3,000円
- ⌚ 20:00~1:00
- 席 30席
- 住 萩市東田町110 休 日曜

カラオケ

TEL 0838-26-6608

### すなっく やち




MAP 34

- ¥ 60分2,200円~
- ⌚ 20:00~24:00
- 席 8席
- 住 萩市東田町107
- 休 不定休

カラオケ  
音響 GOOD!!

カラオケ

TEL 0838-26-6662

### 真葉 -MANOHA-(まのは)




MAP 35

- ¥ 90分3,000円
- ⌚ 19:00~24:00
- 席 カウンター/10席、ボックス/15席
- 住 萩市東田町103 休 日曜

安心して飲めるお店

カラオケ

TEL 0838-26-3282

### 晩酌処 よしき




MAP 36

- ¥ ビンビール600円、生ビール500円
- ⌚ 18:30~1:00
- 席 カウンター/9席、座敷/3畳
- 住 萩市東田町158 休 第3日曜

安心して飲めるお店です

カラオケ

TEL 0838-26-5077

### 果鈴




MAP 30

- ¥ 2,500円
- ⌚ 19:00~1:00
- 席 カウンター/10席、ボックス/8席
- 住 萩市東田町22 休 日曜・祝日

お客様同士、仲良くお飲みいただけます

カラオケ

TEL 0838-25-5507

### 和風カラオケスナック 萩の譲




MAP 38

- ¥ キープ白黒2,500円~  
カラオケ1曲100円~
- ⌚ 12:00~22:00
- 席 イス7席、座敷8
- 住 萩市土原(森眼科前)

演歌歌手の来る店  
新年会・忘年会  
予約受けます

カラオケ

TEL 0838-26-0328

### スナック Marin




MAP 27

- ⌚ 20:00~24:00
- 席 カウンター/9席、ボックス/12席
- 住 萩市東田町111-3
- 休 日曜

落ち着いて飲めるお店です

TEL 0838-26-0535

### アイリッシュ・パブ Sam's




MAP 39

- ¥ 1杯500円~
- ⌚ 19:00~23:00
- 席 20席
- 住 萩市南片河町
- 休 水・木曜

蔵の中にあるアイリッシュ・パブ、樽生のギネス、キルケニー、アイリッシュウイスキーをどうぞ!!

TEL 0838-22-1755

### ユーズボウル萩店 カラオケ BoeBoe




MAP 40

- ¥ 30分85円~
- ⌚ 平日12:00~24:00、土曜10:00~1:00  
祝日12:00~1:00、日・祝10:00~24:00
- 席 17室、最大80名収容可
- 住 萩市大字椿河尻2291 休 なし

最大80名を収容できるパーティールーム、キッズルーム、禁煙ルームを完備しております

カラオケ

TEL 0838-24-1001

### スナック ふみ恵




MAP 28

- ¥ 60分2,000円
- ⌚ 19:30~1:00
- 席 カウンター/5席、ボックス/12名
- 住 萩市東田町111-3 休 日曜

一人でやっていきます

カラオケ

TEL 0838-26-3956

# 連載 萩の産業遺産を歩く (九)

## ― 亀ヶ瀬製鉄場跡 ―

道迫真吾 (萩博物館主任学芸員)

### 知られざる準近代の製鉄場跡

現在、萩市街から車で山口方面に向かう際、萩ウエルネスパーク(萩市椿霧口)の前を通る国道二六二号線を利用することはほぼなくなった。だが、川上方面へ行く際には利用する方も多からう。この道を阿武川に沿ってしばらく南西方向に走り続けると、急にガクッと折れ曲がるヘアピンカーブがある。実は、かつてこの付近に、長州藩が幕末に設置した製鉄場があった。ここではその跡地を、このあたりの地名をとって「亀ヶ瀬製鉄場跡」と呼ぶことにしよう。

あつて、日本古来の「たたら」を擁する製鉄所ではないのだ。

たとえば、『山口県埋蔵文化財調査報告第六七集 生産遺跡分布調査報告書 採鉱・冶金』には「亀瀬たたら」として掲載されている。同書では、元治元年(一八六四)に村田蔵六(大村益次郎)の建議により設置されたこと、現在は「セメント工場敷地」になっているため遺跡の存否を確認できないこと、村田が建議したことから「たたら」ではなく洋式高炉が導入された可能性があることなどを説明している。また、現在は萩市となっている旧川上村が発行した『川上村史』でも、「亀瀬たたら製鉄所」と表記されている。

このように、「亀ヶ瀬製鉄場跡」はわからないことが多い。そこで今回は、この知られざる製鉄場を紹介する。

### 長州藩の製鉄近代化への試行錯誤

周知の通り、萩反射炉は、長州藩が安政三年(一八五二)に試作したものである。その後長州藩は反射炉を再び建設することなく、製鉄大砲の製造には成功できな

かった。しかしその一方で、長州藩は洋式高炉の建設に挑戦していたのである。

ここで、洋式高炉と反射炉との違いを簡単に確認しておこう。高炉は十四世紀に創始され、鉄鉱石を原料に銑鉄を得ることを目的とした。これに対し、反射炉は十七世紀に創始され、銑鉄を再熔解(一部精練)することを目的とした。工程としては、高炉で銑鉄をつくり、その次に反射炉を利用して鉄の純度を高め、大砲などを製造するという流れになる。なお、長州藩屈指の科学者中島治平は、高炉と反射炉の断面図を描いているので、それによって構造の違いを見比べることができる。

よって長州藩は、高炉よりも先に反射炉に手を出したがうまくゆかず、次に見るように文久二年(一八六二)頃になって、ようやく反射炉の前段階の工程を担う高炉の導入に向けて動き出したことになる。

### 亀ヶ瀬製鉄場の建設

先にも触れたが、長州藩は元治元年(一八六四)村田蔵六の建議

にもとづいて洋式高炉を開設することになった(時山弥八「もりのしげり」)。また、中島治平は安政六年(一八五九)以来、たびたび藩に対して鉄工局の開設を建白しており、亀ヶ瀬製鉄場に関与している(小川亜弥子『幕末期長州藩洋学史の研究』)。

右記以外のことはよくわかっていないが、近年、筆者が山口県立図書館で藩政史料を調査したところ、長州藩は確実に、亀ヶ瀬に準近代的な洋式高炉を建設し、一時的にはあるが操業を行っていた事実が判明した(拙稿「萩反射炉関連史料の調査研究報告(第二報)」(『萩博物館調査研究報告』第七号)。

長州藩は文久二年、長嶺豊之助に南部藩の製鉄所を視察するように命じた。これは、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つとなっている、岩手県釜石市の「橋野鉄鉱山」を指す。南部藩も長州藩の申入れを許諾しており、おそらく長嶺は同所を訪ねているはずだが、残念ながらその報告等は残存しておらず、具体的なことは何もわからない。

それから二年後の元治元年(一八六四)、長州藩は平田宗兵衛を「亀ヶ瀬製鉄場御用掛り」に任じるなどしており、この頃から洋式高炉を伴う製鉄場の建設に着手したと見られる。慶応三

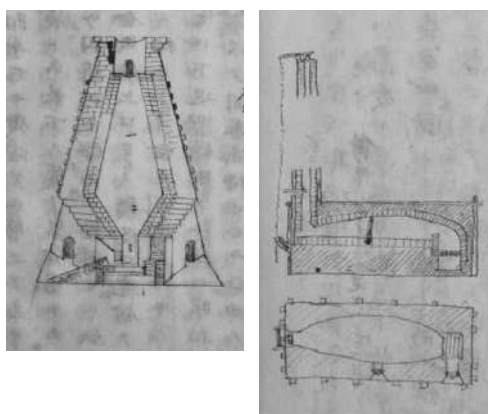
年(一八六七)長州藩は、製鉄場の高炉開設に尽力した庄七という者の功労を認め武士の身分を与えた。また同年、長州藩は製鉄場に必要不可欠の買入れのため北条源蔵らに石州(島根県)への出張を命じている。よって、亀ヶ瀬製鉄場の高炉はこの時期にも稼働していたものと考えられる。

亀ヶ瀬製鉄場がいつまで稼働したかは、現時点でははっきりとしないが、今後さらに史料を掘り起こして謎の解明に努めたい。

中島治平が描いた高炉と反射炉の断面図(萩博物館保管資料より)

高炉(左)は、背の高い炉の頂部より燃料と鉄鉱石などを投入し、炉の側面より送風して炉内温度を上げ、炉底に溜まった溶融物を外へ流し出して銑鉄を得る。

反射炉(右)は、横長に築かれた炉内を燃焼室(右端)と溶解室(中央)とに分離するのが特徴で、高い煙突(左端)を利用して通風を促し、燃焼室の火炎と熱風をアーチ型天井に反射させて溶解室に送り込む。溶けた銑鉄は、煙突の下部側面に空けられた出湯口より鑄型に注がれる。



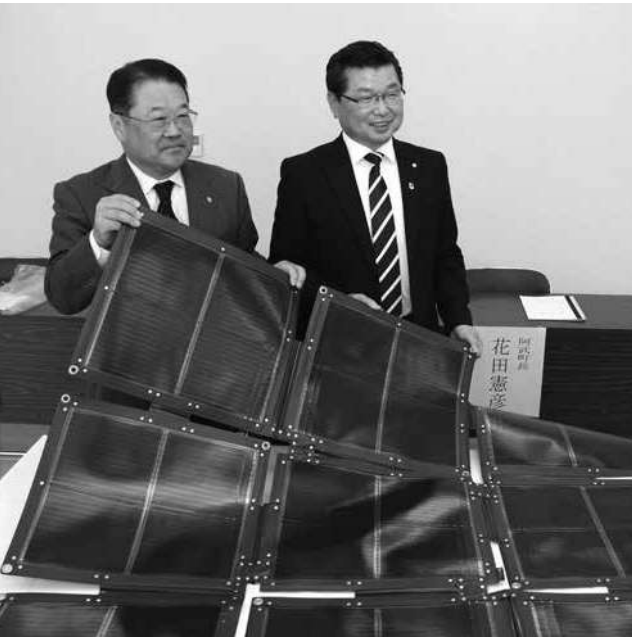


## 阿武町だより

# 株式会社ナベルが新工場を増設 4月着工、25人規模の新規雇用

1990（平成2）年に阿武町へ進出したジャバラメーカーの株式会社ナベルが、町内自社敷地内に新工場を建設することを決定。昨年12月19日に阿武町役場で山口県の矢敷商工労働部長立ち会いのもと、同社と阿武町による新工場建設協定調印式が行われました。

新工場では工業用ロボットのカーパー製作や、折りたたみ式ソーラーパネルを製作、延べ床面積は4375平方メートル。4月に着工し、同年12月に操業開始予定。町への投資額では過去最大となる約6億3400万円をかけた設備投資で、25人の新規雇用を目指すとのこと。協定書調印を終え、花田憲彦町長は「過疎高齢化が進行する阿武町において、雇用の促進はもちろん、町の各種スポーツ・文化活動にも社を挙げてご貢献いただいている。新工場の建設が安全かつ順調に進むことを願っています」とあいさつ。永井規夫代表取締役社長は「山口県の方々は、ものづくりに対して心を込められる人間性を持って



折りたたみ式ソーラーパネルを紹介する永井規夫社長（左）と花田町長



既存の山口工場に隣接して新工場を建設

おり、私は尊敬の念を抱いています。100年先を見据え、人材確保・育成に注力し、皆さんと一緒に我々も育てていただきたい。ここ阿武町の地で生まれて良かったと思えるような生活を、家族とともにできるような環境を整えたい」と話されました。

### ■株式会社ナベル

本社所在地／三重県伊賀市ゆめが丘7・2・3

設立／1988（昭和63）年10月

資本金／5000万円

従業員数／2000人（うち山口工場は約150人）

事業内容／金属工作・加工機械用部分品製造業（ジャバラ製器製造）

売上高 31億7000万円

（2018年9月期）

事業所 本社（三重工場）、山口（阿武工場）

（2018年9月期）

## 萩・明倫学舎通信

### 萩の特産品が勢ぞろい

#### 「お土産シヨップ」

萩・明倫学舎の館内にはお土産シヨップがあります。ここではお菓子や、地酒、蒲鉾、萩焼など約800種類の多彩な萩ならではの土産を取り揃えています。

#### ■萩焼

特に観光客の方々に人気のあるお土産物は萩焼です。400年以上の歴史があり、「萩の七化け」と言われ、使い込むほどに出る深い味わいが楽しめます。当店では、さまざまな形や色のお茶碗やコーヒーカップなど、常時100点以上を取り揃えています。

#### ■夏みかん菓子

夏みかん菓子は、甘さと夏みかんのほろ苦さが絶妙なおいしい



萩焼



夏みかん あおぎり

さで人気です。まだ熟れる前の青い夏みかんをスライスして作った「あおぎり」と呼ばれる砂糖菓子は、観光客の方からは「きゅうりかと思つた」と驚かれます。コーヒー・紅茶・緑茶とよく合います。ぜひお試しください。

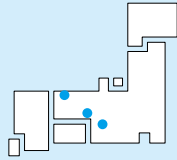
#### ■カード決済もOK

クレジットカードはもちろん、交通系電子マネー（SUICAやICOCAなど）のご利用が可能です。残念ながら萩の各駅では使用できませんが、ここでは多くのお客様にご利用いただいています。

#### ■NPO明倫学舎

（0838・21・0304）

## 同窓会・同郷会だより



情報  
ください  
!

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。  
hagi-network@city.hagi.lg.jp

### 会員投稿



11月12・13日

あしびの郷(奈良市)など 「錦秋の大和路を巡る傘寿の旅」

## 萩高9期(昭和32年卒) 関西同期会

萩高関西9期会は昨年11月12～13日、奈良で、最後の同期会を開きました。全国各地から総勢25人。初日は正倉院展の鑑賞、奈良公園散策等、自由行動の後、懇親の夕べ。それぞれが近況を報告、互いの健康を喜び合った。2日目は聖林寺、談山神社に、石舞台、高松塚古墳等の飛鳥巡り。

これが最後とあって、惜別の情、抑えがたく、行く秋を惜しみつ「このつづきをもう1度」との声、多々あり。最後を飾るにふさわしい思い出深き旅となりました。



固い絆と熱き友情、そして大きな感動をありがとう。

幹事 大野綱之(奈良市)

### 会員投稿



11月28日 姫路市内

## 萩高7期(昭和30年卒) 山口・関西合同同期会



### 「最後の最後の最後の同窓会」

平成28年10月、傘寿(80歳)を迎え、年齢的に最後の同期会になるだろうと東京目黒の雅叙園に集合。東洋一の美術殿堂であるホテル内を見学、東京五輪を元気に見ようとの合言葉で散会、34人参加。

平成29年11月、萩のグランドホテルに集合、懐かしき故郷の思い出にひたり明倫学舎を巡った、45人参加。

平成30年11月、平成最後の年の思い出にしようと、最後の最後の同期会を開催。国宝姫路城の雄姿を目に焼きつけフラワーセンターで花と戯れ、明日への活力をもらった、24人参加。  
増山博英(宇部市)

### 会員投稿



11月22日 萩市民館

## 「教育維新」やまぐち地域 連携教育推進フォーラム

学校と家庭・地域が連携・協働して子どもたちを育む「コミュニティ・スクール」の普及・啓発をめざしたフォーラムが、山口県内外から約450名の教育関係者や地域の方々などの参加を得て、山口県教育委員会の主催により萩市で開催された。

萩高校と萩総合支援学校の実践や、コミュニティ・スクールで学んだ大学生(萩東中卒)のふるさと萩への思いなどが発表された。萩高2年の國廣奈菜子さん(椿、17歳)は、地域の課題をもとに、今後のまちづくりに向けて「高校生熟議」で話し合いまとめた「ふるさとの新たな魅力や萩市の活性化への具体的な方策」を提言した。



「将来は萩に帰り、教育を通して萩市に貢献したい」と話す國廣奈菜子さん

山口県教育庁 山根昌浩(萩市)



京都「伏水菓藏本店」



和晃・特別顧問の井町正さん（左）、社長の井町充宏さん

京菓子の製造販売会社・株式会社和晃が、昨年12月15日、京都市伏見の酒蔵の町並みにイートイン付き和洋菓子店「伏水菓藏本店」をオープンした。

京都・伏見は、坂本龍馬ゆかりの寺田屋や、長州藩などの大名屋敷にほど近い、酒蔵が建ち並ぶ酒処。

「和晃」は、1981年に京市出身の井町正さん（86歳、萩高4期、昭和27年卒）が創業。2008年に全国菓子大博覧会兵庫で「京都伏見 酒まんじゅう」が名誉総裁賞を受賞した。

「伏水菓藏本店」では、地元伏見のお酒と仕込み水を使った酒まんじゅうやわらび餅、酒蔵の軒下に吊るされている杉玉をイメージした杉玉そぼろまんじゅうなどを揃えている。「杉玉」は、萩市内の自社管理農園の夏みかんや宇治抹茶を使った人気商品

代表取締役社長の井町充宏さんは「歴史の舞台となった酒蔵の立ち並ぶ中心地でお店を持つことが長年の夢でした。伏見のランドマークとなる店舗になるように、地域の皆様に愛される店作りに励み、観光のお客様にはまた伏見に来てみたいと思っていただけけるよう心がけていきたい」と話している。

■伏水菓藏本店

住所／京都市伏見区上油掛町33  
電話／075・604・2237  
営業時間／10:00～18:00（不定休）  
イートイン32席  
\*和菓子詰合せ（酒まんじゅう、わらび餅、杉玉、宇治抹茶せんべい）3000円（税・送料別）をネット通販している。

「学び舎を去りし仲間の永遠にあれ  
春夏秋冬、絆忘れじ」  
木間小中学校跡に陽先生の歌碑

1963（昭和38）年から5年間、木間中学校に赴任し、後に京市教育長を務めた陽信孝さん（椿79歳、萩高9期）が、木間小中学校の閉校記念して詠んだ短歌の歌碑が完成した。

木間小中学校は昨年3月に閉校し、1882（明治15）年開校以来、135年の歴史に幕を閉じた。閉校式の際に陽先生から贈られた歌に感動した教員たちが、歌碑として学校敷地内に残すことを決め、「陽先生歌碑設立実行委員会」（阿嶋忠治会長）を組織し、寄付金を集めて建立、昨年10月14日に除幕式が行われた。

閉校にあたり陽さんは、記念誌に次のように寄稿した。

「今は亡き妻八重子と期待と不安を抱きつつ、萩センターから木間に向った。それから5年間、子どもたち、地域の皆さんと深く、厚く、あったかく、今もなお続く絆が続いている。新婚の地であり、木間で生まれた二人の娘を優しく育んでいただいた切っても切れない絆を生んだ。妻がアルツハイ

マー病を患ってからも何度訪れたことか・・・」

陽さんの自伝をもとに製作された映画「八重子のハミング」でも回想シーンとして登場している。

陽さんは「教師冥利に尽きるとはこのことでしょう。妻と常に話してきたことは、自分たちの教育の結果は30年、50年過ぎて出てくるもので、喜怒哀楽いずれの時でも声をかけてくれた時、私たちの教育は間違っていないかったと・・・」と話している。



木間小中学校の敷地内の歌碑と陽信孝さん

地域の皆様とともに



萩山口信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/hagiyamaguchi/>

萩支店：萩市大字唐樋町3番地3  
☎ 0838-22-3111

浜崎支店：萩市大字浜崎町253番地2  
☎ 0838-22-0197  
越ヶ浜支店：萩市大字椿東6392番地1  
☎ 0838-25-0321  
奈古支店：阿武郡阿武町奈古2311番地の13  
☎ 08388-2-3028  
新川支店：萩市大字椿東3072番地12  
☎ 0838-22-0608  
松本支店：萩市大字椿東2511番地3  
☎ 0838-22-3113  
橋本支店：萩市大字橋本町74番地  
☎ 0838-22-3141

# 情報アラカルト

## 関東地区

■「ふるさとの食につぼんの食」  
全国フェスティバル

日本全国の「ふるさとの食」を楽しみながら学べるイベント。秋の地ビール、夏みかん菓子、かまぼこなどを販売。

3月9日(土)、10日(日) 午前10時～午後4時

東京都渋谷区神南2・2・1

代々木公園(ケヤキ並木・イベント広場)、NHKホール前広場など

\*入場無料

問(03・5777・8600)

■地方分権改革シンポジウム「地方の提案で国の制度が変わる」

藤道健二萩市長が萩市の取組事例(薬局の管理薬剤師の業務許可要件の緩和)を紹介します。

3月22日(金) 午後1時30分～4時30分

東京都千代田区大手町1・7・2

大手町サンケイプラザ4階ホール

内容 基調講演 神野直彦(東京大学名誉教授)、取組事例紹介

木本美喜(鳥取県福祉保健部職員)、藤道健二(萩市長)、パネリスト

デイスカッション

\*事前申込が必要(定員600人)  
地方分権改革シンポジウム事務局  
(03・3824・7231)

## 関西地区

■大阪指月会

関西地区の萩高同窓会。

4月21日(日) 正午～午後2時30分

大阪市淀川区宮原4・2・1

ホテルメルパルク大阪

(JR新大阪駅から徒歩5分)

(090・1717・3946) 伊藤

■三輪和彦個展「観自在―あたらしい遊を愉しむ―」

3月14日(木)～20日(水)

京都市中京区下御霊前町638・1

かつらせい寺町店

(075・253・2525)

## 中国地区

■「作陶40周年 兼田昌高展」

3月14日(木)～20日(水)

広島市中区胡町6・26

広島福屋八丁堀本店 7階美術画廊

(082・246・6111)

## 九州地区

■「岡田泰 作陶展」

3月6日(水)～11日(月)

福岡市中央区天神2・1・1

福岡三越9階・岩田屋三越美術画廊

(092・726・7789)

■「水津和之 茶陶展」

4月10日(水)～16日(火)

福岡市中央区天神1・4・1

大丸福岡天神店 本館6階アート

ギャラリー

(092・712・8181)

## 萩市関係

■大井中学校同窓会

会費は3千円、参加申込は3月末まで。

4月13日(土) 午後6時～9時

大井小中学校体育館

(0838・28・1295) 阿武

■萩八景遊覧船

3月1日から運航を開始。桜の開花時期には、通常の運航コース(40分)を延長し、橋本川の河川

沿いの桜並木を眺める桜鑑賞コース(50分)を運航。

3月1日(金)～11月30日(土)

午前9時～午後4時(11月は午後3時30分まで)

指月橋横発着場(堀内、萩城跡入口付近)

料金 大人1200円、小人600円(定員12人)

萩八景遊覧船

(0838・21・7708)

■萩・明倫学舎2周年記念スペース

3月3日(日) 高重翔マジック

ショー 11時30分、14時、旧

萩藩校明倫館ミニガイドツアー

14時30分、歴史パフォーマンス

3月3日(日) 高重翔マジック

ショー 11時30分、14時、旧

萩藩校明倫館ミニガイドツアー

14時30分、歴史パフォーマンス

山口県漁協萩地方卸売市場

萩市観光協会

(0838・25・1750)

「日本伝統工芸展・巡回展」

萩市内の入選者(陶芸)は、岡

田裕、岡田泰、渋谷英一、波多野

善蔵、松尾凜風、松尾優子。

2月21日(木)～3月10日(日)

広島市中区上職町2・22

広島県立美術館

(082・221・6246)

3月12日(火)～17日(日)

松山市一番町3・1・1

松山三越

(089・945・3111)

「SHOW IN」若き志士たち

10時30分、13時、15時

3月9日(土) 萩ジオパークフェア

パエリア試食会 12時～13時

\*いずれも参加費無料

萩・明倫学舎

(0838・21・0304)

■萩・しろ魚まつり

おどり食い無料サービス(10時

30分、13時)、しろ魚雑炊

(200円)、しろ魚即売(千円)

など。海況により即売中止あり。

3月3日(日) 午前10時～午後3

時

山口県漁協萩地方卸売市場

萩市観光協会

(0838・25・1750)

■萩ジオパークフェア2019

日本ジオパーク認定記念

3月8日(金) 18時30分、サン

ライフ萩、記念講演会「和食はな

萩産マフグを萩しーまと  
から直送します。

①「萩の天然真ふぐ鍋セット」  
3500円(税別)

萩産マフグが活かしたまま萩漁港に水揚げされる時期だけの季節限定販売。家庭でも食べやすいようにマフグ一匹を丸ごとさばき、刺身などに仕立てて提供します。

内容 マフグの刺身2～3人前、マフグのアラと1口大カットの身「萩魚のふぐポン酢」、ねぎともみじおろし

②「萩の天然真ふぐ生みがき」

特大(2～2.5kg) 3800円、

大(1.5～2kg) 3000円、

中(1～1.5kg) 2500円

(いずれも税別)

3枚におろして刺身、鍋、から揚げなどに調理できます。

\*いずれも冷蔵便で発送、別途送料・箱代等が必要

■申込 道の駅萩しーまと

WEB「萩しーまと」で検索

(0838・24・4937)



萩の天然真ふぐ鍋セット



ぜひ美味しい！日本列島の贈り物」  
巽（たづな）好幸（神戸大学教授）

3月9日（土）12時～16時、萩明倫  
学舎、パエリア試食会（無料）、萩ジ  
オパークお試しツアー（事前申込）  
3月10日（日）10時～18時、阿武  
町市民センター、萩ジオパーク体  
験ブース、シンポジウム「ジオパー  
クの楽しみ方」  
萩ジオパーク推進協議会  
（08388・21・7765）

■萩の真ふぐまつり  
真ふぐ鍋（限定千食）、真ふぐ  
味めぐり（限定200食）の販売  
（10時15分）、お刺身無料試食（先  
着500人、11時）、握り寿司（限  
定100食）の特売（12時）など  
3月10日（日）午前10時～午後2  
時  
山口県漁協萩地方卸売市場・道の

### 新規（再）加入会員

佐内保男（東京都中央区）  
柴田洋子（秋市）  
佐伯京子（東京都世田谷区）  
眞淵瑤子（大阪府豊能町）  
藤原明源（高知県高知市）特別  
大倉豊仁（秋市）  
西村純男（広島県廿日市市）  
松野俊男（愛知県江南市）  
（12月11日～2月20日）8人  
《特別賛助会員》  
新谷周二（千葉県松戸市）  
大賀進（神奈川県川崎市）

駅萩しーまーと  
（08388・24・4937）

■萩しーまーと「長州サムライ市  
場」  
萩産マフグから揚げ無料試食  
（先着100人）、萩産マトウダイ  
のフィッシュ&チップス無料試食  
（先着100人）、萩の郷土料理い  
とこ煮無料試食（先着50人）サム  
ライめし特別販売、お魚捌き方教  
室など。海況により変更あり。  
3月17日（日）午前10時～  
道の駅萩しーまーと  
（08388・24・4937）

■カヌースラローム日本代表選手  
最終選考会  
東京オリンピック出場の見込み  
となる大会が萩市川上で開催。萩  
市民でオリンピック出場を目指す  
カヌー選手も参加。

清水教昭（阿武町）  
鹿野俊二（千葉県習志野市）  
山本正義（広島県廿日市市）  
山本博通（東京都世田谷区）  
池本和人（秋市）  
出羽修（大阪府摂津市）  
倉重光宏（宇部市）  
須郷昌徳（福岡県福岡市）  
川瀬正臣（神奈川県横浜）  
中村正彦（秋市）  
大久保裕元（秋市）  
伊藤清人（秋市）  
平野出（東京都品川区）  
（11月15日～2月20日）15人

4月20日（土）～21日（日）  
午前9時～午後4時  
阿武川特設カヌー競技場（萩市川  
上池ヶ原）  
\*有料観覧席 2800円  
（200席）  
萩市スポーツ振興課  
（08388・25・5519）

■第77期萩対局名人戦七番勝負第  
2局  
将棋界の8大タイトル戦で最も  
伝統ある名人戦が初めて萩市で開  
催。名人戦は7番勝負で行われ、  
先に4勝した棋士が「名人」の栄  
冠。佐藤天彦名人への挑戦者は3  
月に決まる。  
4月22日（月）～23日（火）  
松陰神社立志殿  
\*直接観戦はできないが、ネット  
「ニコニコ動画」で中継される。  
萩市企画政策課  
（08388・25・3102）

### 出版情報

■「2019冬のぶらり萩あるき  
パスポート」  
萩市観光協会がグルメや温泉  
イベント情報をまとめた。飲食店  
や土産店など28店舗、日帰り温泉  
7施設の料金割引、萩博物館や明  
倫学舎など観光施設の割引クーポ  
ン付（利用期間は3月31日まで）。  
萩市観光協会  
（08388・25・1750）

■飲食店ガイド「萩の旨旅」

萩市観光協会が飲食店情報をま  
とめたガイドブック（A5判、20  
ページ）。萩市、阿武町内のレス  
トランやカフェ、居酒屋、バー、  
スナックなど149店舗を掲載。  
■「めばるの部屋」  
少女時代に「めばる」と呼ばれ  
て以来、その透きとおった瞳で見  
た日常の出来事や飼った犬のことな  
どを、面白おかしく綴った心とむ  
一冊。著者は須佐出身、萩光塩学  
院高等学校昭和45年卒業、67歳。  
2003年に「あの春以来」を出版。  
鳥切かずみ（東京都在住）  
文芸社 900円（税別）  
（0120・29・9625）



### お知らせ

■選挙日程  
山口県議会議員選挙  
投票票日 4月7日（日）

### プレゼント

①「萩の天然真ふぐ刺身2人前  
（21センチ皿盛）」（萩しーまーと提供）  
を1名様に。  
②萩のキャラクター「萩にゃん。」  
のキーホルダー（萩ガラス工房提

供）を2名様に。  
■応募方法 ハガキに品名、住所  
氏名、電話番号、近況等を明記の  
うえ、萩ネットワーク協会、プレ  
ゼント係まで。3月20日必着。

### 編集後記

萩市政では、2月下旬にまとま  
った市民アンケート結果を受けて、  
旧明倫小学校3・4号棟のあり方  
（活用）についての判断、4月以  
降にまとまるイージス・アショア  
の適地調査を受けて、配備につ  
いての判断が大きな課題となる。  
国政では、5月の改元、7月の  
参院選、10月の消費増税など身近  
な話題で、何かと気ぜわしい1年  
になりそう。

デジタル技術のおかげで、映  
画・音楽など日々恩恵を受けてい  
るが、ビッグデータの処理に優れ  
たAI（人工知能）の台頭により、  
今だからこそ人間にできて機械に  
できないことを見極める必要があ  
る。機械は現在しか捉えられない  
が、人間は現在を点でなく、未来  
と過去を同時に含んだ空間として  
考えることができる。

・新旧ディーバ（歌姫）の映画。  
「私はマリア・カラス」、カルメン  
ノルマなど全盛期の歌声が聴ける。  
「アリー／スター誕生」、レディー！  
ガガの歌う主題歌は米国グラ  
ミー・アカデミー賞をW受賞。  
（広報特別参写 山本章三）

ふるさと情報紙「萩ネットワーク」

萩ネットワーク協会 ☎0838・25・3178

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送  
発行月 1・3・5・7・9・11月号  
(1994年10月創刊)  
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円  
会員数 1,574人(2018年3月末現在)

トワイライトエクスプレス瑞風

萩への立ち寄り観光スケジュール

3月31日、4月7日、21日、5月12日  
いずれも日曜日  
8:40 東萩駅到着 / 12:08 萩駅出発 (予定)

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

- ～3月31日(日)  
◇萩まちじゅう味めぐり・萩温泉郷湯めぐりキャンペーン 市内各所
- ～3月21日(木・祝)10:00～  
◇萩・椿まつり 笠山椿群生林
- 3月2日(土)・3日(日)・9日(土)・10日(日)  
10:00～16:00  
◇萩往還梅林園まつり 萩往還梅林園
- ～4月3日(水)  
◇萩城下の古き雛たち 旧久保田家住宅ほか 16カ所

- 3月1日～11月30日9:00～16:00 (11月は～15:30)  
◇萩八景遊覧船の運航 萩城跡横指月橋
- 3月3日(日) 10:00～15:00  
◇萩・しろ魚まつり 道の駅「萩しーまーと」横
- 3月10日(日) 10:00～14:00  
◇萩の真ふぐ祭り 道の駅「萩しーまーと」横
- 5月1日(水・祝)～5日(日・祝)9:00～17:30  
◇萩焼まつり 萩市民体育館
- 5月3日(金・祝)・4日(土・祝)10:00～15:00  
◇萩・大茶会 萩城跡指月公園ほか

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

「フィンランド陶芸 芸術家たちのユートピア」 4月20日(土)～6月30日(日)

フィンランド陶芸の黎明期から黄金時代と呼ばれる1950～60年代までを中心として体系的に紹介する画期的な展覧会。

同時開催「マリメッコ・スピリッツ フィンランド・ミーツ・ジャパン」

フィンランドを代表するテキスタイルブランド、マリメッコを担う3人のデザイナーの代表作などを紹介。



マイヤ・ロウエカリ「桜の花の雨」  
2017年 マリメッコ・スピリッツ展

※設備改修工事のため3月31日(日)まで休館。  
普通展示(浮世絵、東洋陶磁、陶芸)は、4月2日(火)から開館。

萩博物館だより

☎0838・25・6447

「描かれた萩の大地～絵図にかくされた大地と人の物語」 3月16日(土)～5月12日(日)

日本ジオパーク認定記念展。江戸時代以降に描かれた絵画や絵図を通して、萩の台地の上で営まれた生活や文化などを読み解く。萩出身の地質学者・日本画家の高島北海の足跡を振り返り、長門峡などの絵画も紹介。4月12日(金)は展示替え。

■観覧料 大人510円、高・大学生310円、小・中学生100円



幕末期の笠山(「萩両大川辺・奈古屋島辺之図」毛利博物館蔵) 前期展示

萩市のふるさと納税の返礼品に、「郵便局のみまもりサービス」が導入されました!

大切なご家族の毎月、毎日のみまもりを郵便局がサポート。郵便局のみまもりサービス

例えば  
こんな方に

生活状況について  
把握したい

結果に納得する  
ことができない

人との会話で  
元気になってほしい



○みまもり訪問サービス

萩市で暮らす親御さんなどのご自宅に、郵便局社員等が毎月1回訪問し、生活状況を確認して、その結果をご家族等の報告先へお知らせするサービスです。(報告先は最大3件)

○みまもりでんわサービス

萩市で暮らす親御さんなどの固定電話等へ、毎日指定された時間帯に、自動音声電話をお掛けし、利用者の体調確認結果を、報告先にメールでお知らせするサービスです。(報告先は最大4件)



【寄付金額】

- みまもり訪問サービス (12か月) : 108,000円、(6か月) : 54,000円
- みまもりでんわサービス 【固定電話】(12か月) : 42,400円、(6か月) : 21,200円  
【携帯電話】(12か月) : 51,000円、(6か月) : 25,500円

※「ふるさとチョイス」及び萩市ホームページ「ふるさと寄付特設サイト」からお申込みいただけます。  
※ ふるさと納税の返礼品としてご利用いただく場合、確定申告を行うことで、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除されます(所得等による一定の上限はあります。)

○郵便局のみまもりサービスに関するお問い合わせ先 【受付時間 平日 9:00～21:00 土・日・休日 9:00～17:00】  
(固定電話から) 0120-23-28-86 (フリーコール) (携帯電話から) 0570-046-666 (通話料有料)  
直接のお申し込みも可能です! (ふるさと納税でない場合) お問い合わせは、萩郵便局(総務課)まで! 電話 0838-22-0681